

和歌山県における地理空間情報の 利活用について

和歌山県 県土整備部
県土整備政策局 県土整備総務課



目次

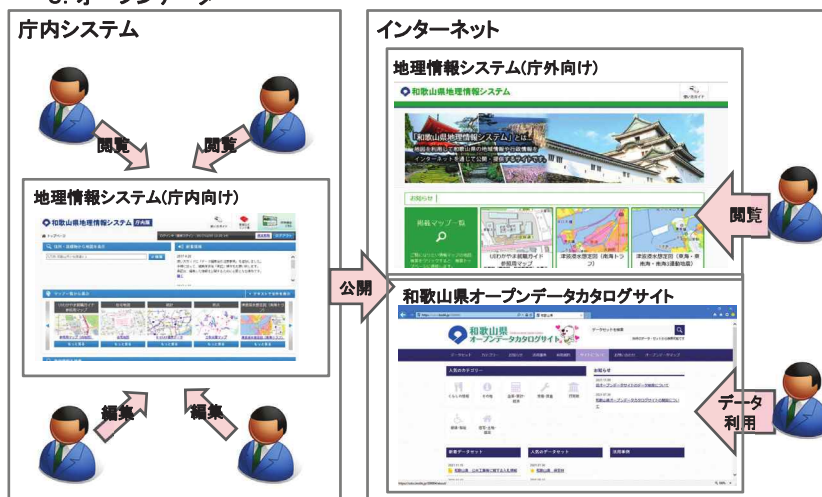
- 1 和歌山県における地理空間情報の利活用概要
- 2 オープンデータについて
- 3 和歌山県地理情報システムにおけるマップ例(抜粋)
- 4 GISを用いた活用事例について

※和歌山県地理情報システムは企画部企画政策局情報政策課、和歌山県防災アプリは総務部危機管理局防災企画課が運用しています。

1. 和歌山県における地理空間情報の利活用概要

和歌山県地理情報システムによる利活用

1. 地図情報を関連部署と共有
2. 地図の情報公開
3. オープンデータ



2. オープンデータ

和歌山県地理情報システムで公開している地理情報を和歌山県オープンデータカタログサイトからダウンロード可。



BODIK ODCとは

和歌山県オープンデータカタログサイトはGitHUBよりBODIKODCSIに移行しました。

- 地方自治体がオープンデータを公開するためのデータカタログサイト
- 177自治体(9府県、168市町村)が利用(R4.1.19現在)
- プラットフォームとしてCKANを利用。CKAN APIを利用してオープンデータにWeb API経由でアクセス可能

2. オープンデータ

和歌山県オープンデータカタログサイト

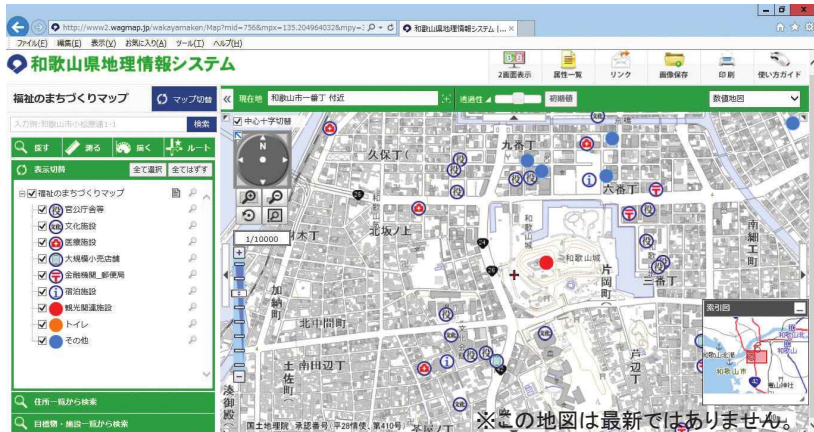


和歌山県地理情報システムへリンク

地理情報を用途に応じた形式でダウンロード可能
 ・緯度経度を含むCSV
 ・シェープ
 ・KML
 ・GeoJSON

3. 地理情報システム例①

福祉のまちづくりマップ



県内の障害者、高齢者等が安全かつ円滑に利用できるよう配慮された施設(官公庁舎、文化施設、医療施設、大規模小売店舗、金融機関・郵便局、宿泊施設、鉄道駅)の概要、整備状況(車椅子対応設備やオストメイト設備の有無)、位置など、身体の不自由な方々が街に出かける際に参考になる情報を掲載しています。

3. 地理情報システム例②

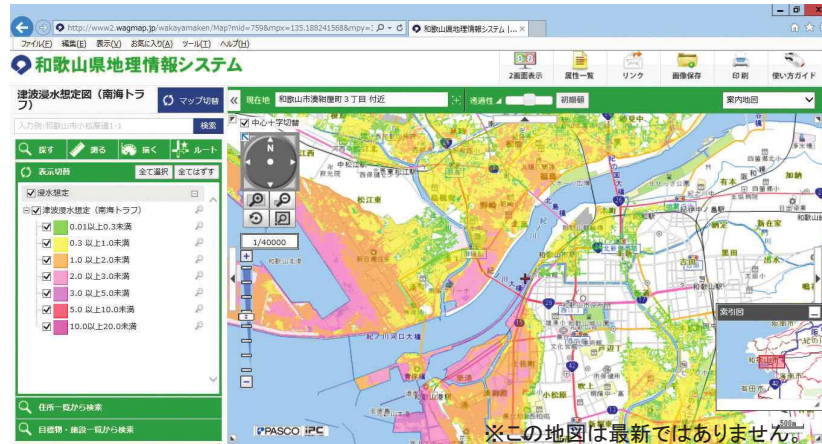
道路規制情報



一般国道及び県道の和歌山県管理区間及び市町村管理道路において行われる道路規制情報です。

3. 地理情報システム例③

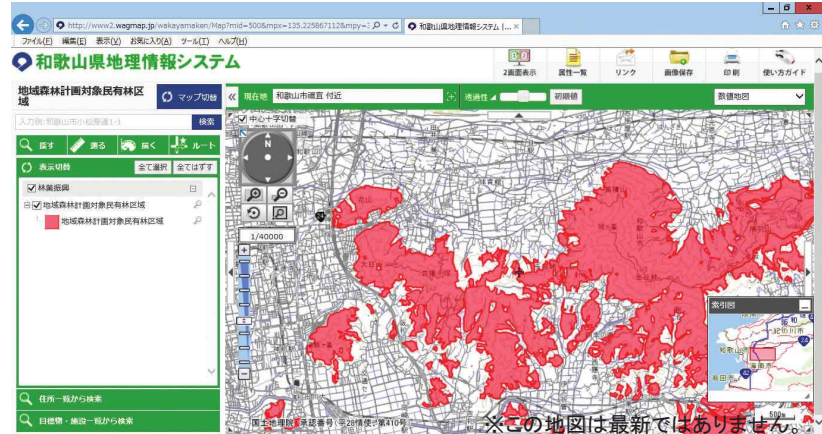
津波浸水想定図(南海トラフ)



南海トラフの巨大地震等に係る津波浸水・地震被害想定を実施するにあたり、地震・津波防災対策の専門家から、科学的知見に基づいた助言をいただくために「和歌山県地震・津波被害想定検討委員会」(以下「委員会」という。)を平成24年4月に設置して検討を行い、委員会での意見を参考に作成した浸水想定図です。

3. 地理情報システム例④

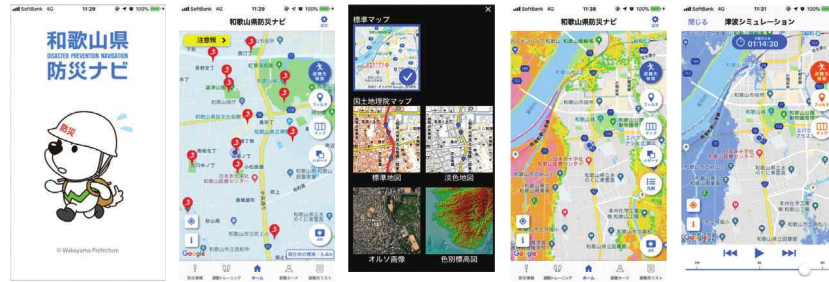
地域森林計画対象民有林区域



森林法第5条に基づき、知事が作成する地域森林計画の対象となる森林の区域です。

4. GISを用いた活用事例について

和歌山県防災アプリ(アプリストアで公開)



県民一人ひとりの安全な避難を促進するため、避難に役立つ機能を備えたスマートフォン向けの防災ポータルアプリを平成30年5月から配信しています。

- ・ 災害種別に応じ、近くの避難先を検索「避難場所を指定し、ルート検索が可能」
- ・ ベースマップは、状況に応じ切り替えが可能
- ・ 浸水想定など、各種ハザード情報の表示
- ・ 津波シミュレーションでは、どの場所がどのくらいの時間で浸水することを確認することが可能
- ・ 地図情報以外にも、防災情報等のプッシュ通知や現在地共有機能及び避難カード機能を実装

5. GISを用いた活用事例について

防災情報システム



災害時に、避難情報等発令情報、避難所開設情報及び道路規制等の各種情報をWEBで公開しています。

- ・ 県及び県内全市町村が登録した情報をリアルタイムで反映
- ・ 平常時にも、避難場所や各種被害想定等を表示し、災害への備えの確認が可能

神戸市のGISに関する取組

神戸市企画調整局政策調査課

令和4年2月1日

目次

庁内のEBPM推進のための取組

- ・ GISの活用推進
- ・ 研修「神戸市データアカデミー」の実施
- ・ 地理情報を含んだ人口データのダッシュボード化

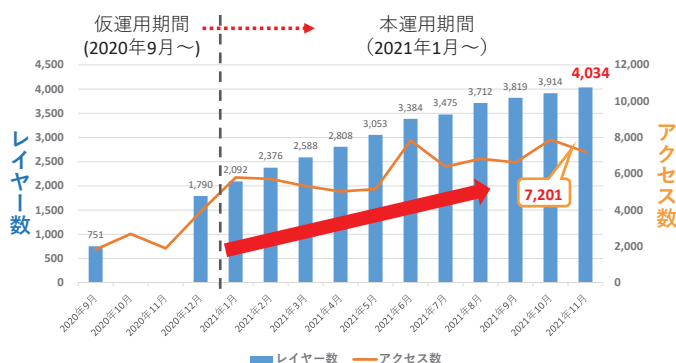
GISの活用推進

- ① サポートデスク
・ 8：30～17：30の間、いつでも職員が電話で質問ができる。
- ② e-ラーニング
・ 基礎操作が分かる動画や、学びながら操作を実施するチュートリアルモードなどが充実している。
・ オープンデータの活用例を示した動画を追加した。
- ③ マニュアルの充実
・ EBPMへの活用に関係する使い方マニュアルを追加した。



GISの活用推進

市内GIS直近の利用状況



市内GISの活用が進んでいる

GISの活用推進



令和3年1月より新しい統合型GISへ移行
移行のタイミングで、運用方法や必要な機能を見直し

GISの活用推進

個別GIS(一部抜粋)

指定道路情報配信サービス



土砂災害検索システム



埋蔵文化財地図



○各所属で運用している個別のGISを調査し、可能なものから統合型GISに順次統合

○道路照明灯、文化財情報等の統合を調整中

研修「神戸市データアカデミー」の実施



行政データ公開の意義やEBPM（証拠に基づく政策立案）の重要性を理解し、業務上の課題解決と市民サービスの向上につなげるため、平成28年度から神戸市職員データの活用リテラシー向上を目的とした研修「神戸市データアカデミー」を実施している。

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<p>研修 課題【テーマ】 第1クール 子供の安全のためのデータ活用</p> <p>データ分析実習 課題設定 ・課題設定の目的 ・課題設定の範囲 ・課題設定の範囲 ・課題設定の範囲</p>	<p>研修 課題【テーマ】 神戸市の観光振興と観光客の行動分析</p> <p>データ分析実習 課題設定 ・課題設定の目的 ・課題設定の範囲 ・課題設定の範囲</p>	<p>研修 課題【テーマ】 データ分析実習 課題設定 ・課題設定の目的 ・課題設定の範囲 ・課題設定の範囲</p>	<p>研修 課題【テーマ】 「日本ってどんな国？」に関するデータ分析実習 課題設定 ・課題設定の目的 ・課題設定の範囲 ・課題設定の範囲</p> <p>研修 課題【テーマ】 「日本ってどんな国？」に関するデータ分析実習 課題設定 ・課題設定の目的 ・課題設定の範囲 ・課題設定の範囲</p>

研修「神戸市データアカデミー」の実施

データ活用研修・セミナー 神戸市データアカデミー

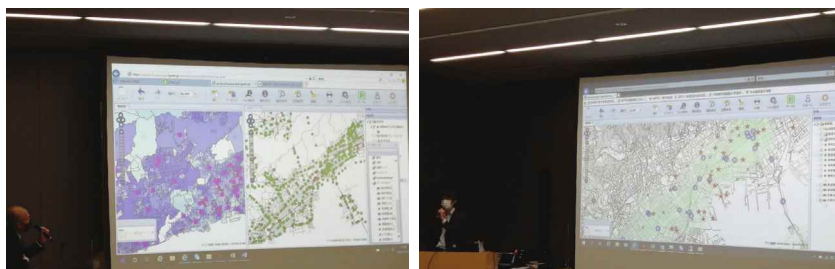


データアカデミーの全体構成



データ活用に関する基礎知識を習得 + GISなどの基本的なツールの活用方法を習得 ⇒ フレームワークとツールを活用して課題解決の演習

研修「神戸市データアカデミー」の実施



班ごとに20歳代、50歳代、70歳代が住みやすい引っ越し先をGISで表現し発表

政策立案に繋がる可視化や市民にとって分かりやすくデータを示す重要性を学ぶ

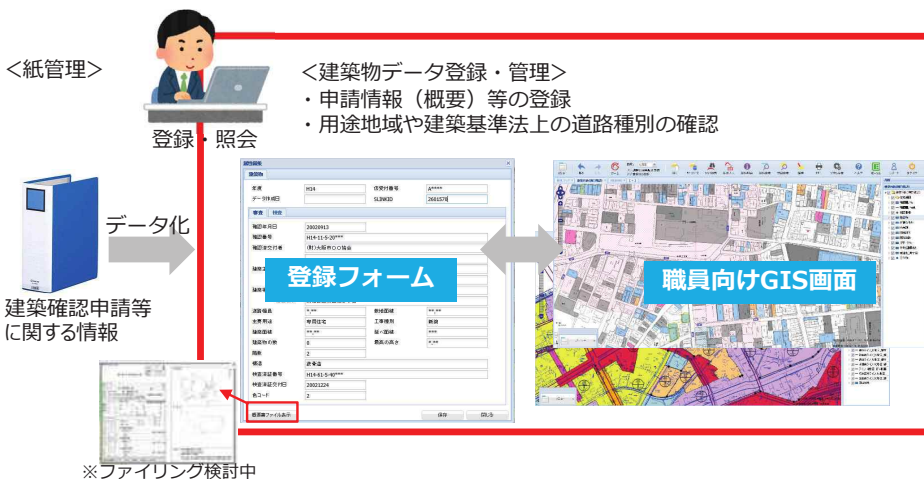
【地理空間情報の利活用促進】 大阪市の取り組み状況

「Web情報発信」と「人材育成」の2つを軸として、マーケティング理論を参考に、ターゲットを明確にして地理空間情報の利活用促進を行っている。



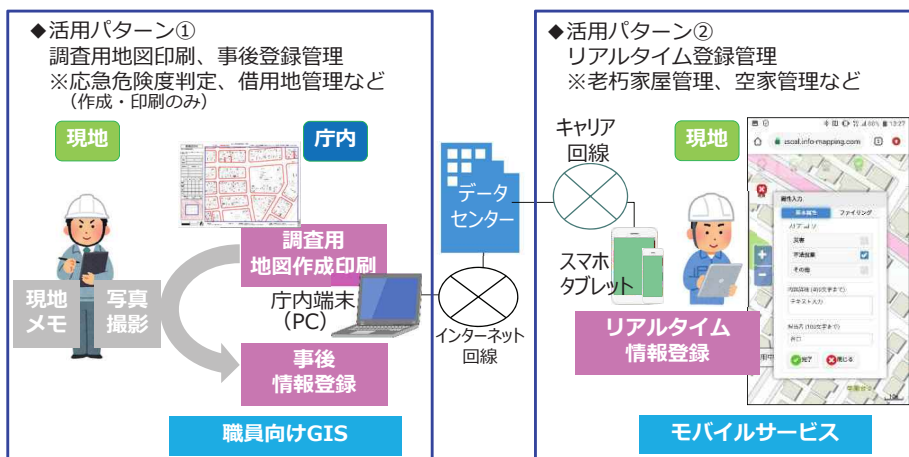
【職員向けGIS】 事例① 建築行政窓口業務（データ化・台帳管理）

建築確認申請に関する情報をデータ化し、職員向けGISの入力フォームを利用した申請情報の登録により、窓口受付業務の効率化を実現している。また、申請内容などの問い合わせにも、「台帳照会」により対応している。



【職員向けGIS】 事例② 土地建物管理（現場調査業務効率化）

現場調査の情報管理に活用した事例として、土地建物管理に「職員向けGIS」や「モバイル機能」を活用し、現場調査業務の効率化を図っている。



【市民向けGIS(マップナビおおさか)】事例① 都市計画情報

「用途地域」や「防火地域」などの都市計画情報を、5つのマップに分けて公開しており、マップ横断的に一括検索が可能となっている。
(最も多く閲覧されている公開マップ)

5つの都市計画情報マップを一括(串刺し)検索して詳細情報をまとめて表示

【市民向けGIS(マップナビおおさか)】事例② 地形図・航空写真

毎年、大阪市域の「地形図」および「航空写真」を整備し、公共測量成果として公開を行っている。

この際に「固定資産税に係る業務で毎年撮影されている『航空写真データ』」を有効に活用し、マップナビおおさかに公開するとともに、過去の航空写真からの土地や家屋の形状変化を確認して、地形図を整備している。

航空写真 (公共測量成果)

地形図 (公共測量成果)

共通電子地図データ整備業務

【市民向けGIS(マップナビおおさか)】事例③ 昭和3年,17年の航空写真

国土地理院との協定に基づき、大阪市から位置情報の無い航空写真データを提供し、地理院から位置合わせの技術協力を得て、「マップナビおおさか」や「地理院地図」などへの公開を行っている。

大阪市

航空写真データ提供

協定

技術協力(位置合わせ)

位置情報付与

地理院地図公開

地理院タイル公開

マップナビおおさか公開

【市民向けGIS(マップナビおおさか)】事例④ ワクチン接種会場マップ

直近事例として、新型コロナワクチンの接種可能な接種会場や医療機関について、大阪市ホームページとの相互リンクと「マップナビおおさか」へのマップ公開により、市民に対して迅速かつ分かりやすい情報発信を行っている。

大阪市のホームページから「マップナビおおさか」の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種会場マップへアクセス可能。検索機能や、現在地・住所検索、会場種別による絞り込み表示などの機能が提供されている。

【地理空間情報の利活用促進】オープンデータサイト連携

市民向けGIS「マップナビおおさか」に公開している地理空間情報を、「大阪市オープンデータポータルサイト」や「G空間情報センター」とデータ連携することにより、オープンデータの利活用促進を図っている。

「マップナビおおさか」の地理空間情報は、大阪市オープンデータポータルサイトやG空間情報センターと連携し、オープンデータの利活用促進を図っている。

【地理空間情報の利活用促進】行政手続きのオンライン化

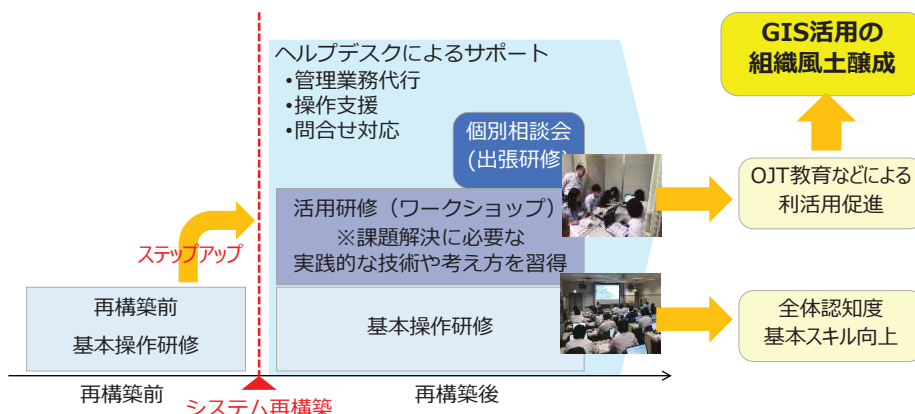
測量成果ワンストップサービス（国土地理院委託）の電子申請を利用した大阪市地形図・航空写真のデータ（G空間情報センターからのダウンロード※）提供も行っている。

測量成果ワンストップサービス（国土地理院委託）の電子申請を利用した大阪市地形図・航空写真のデータ（G空間情報センターからのダウンロード※）提供も行っている。

※マップナビおおさかに掲載している大阪市地形図・航空写真データを登録して、インターネットからダウンロードしていただけるようになっている。

【地理空間情報の利活用促進】人材育成

統合型GISのシステム再構築時に人材育成方法の見直しを行い、「個別出張研修」や「ワークショップ」などにより、課題解決に必要な実践的な技術や考え方をを持った人材を育成することにより、GIS活用の組織風土を醸成する。



【地理空間情報の利活用促進】国土地理院の利活用講習会

国土地理院のご協力により「地理空間情報の利活用講習会」を毎年開催している。講習会参加者アンケートの結果、満足度は非常に高く（9割以上が満足）、利活用事例案も具体的に様々な提案があり、また、定期的な研修の開催を期待する声も多数あり、大変好評であった。

【地理空間情報の利活用促進】庁内ポータルによる情報発信

「いちから聞きたいGIS」など、難しいシステムと思われがちなGISをG：画面に、I：いろんな情報が出せる、S：仕組みとしてイラストと口語調で親しみやすく、分かりやすく紹介している。